

# 豊かな知を創造し、 力のある教員を育てる

—九州の教員養成拠点大学—



学長 櫻井 孝俊

Takatoshi Sakurai



福岡教育大学の起源は、明治6年(1873年)に設置された学科取調所(後の福岡師範学校)に由来します。第2次世界大戦後、新制国立大学発足時の昭和24年(1949年)6月1日に、旧制の福岡第一師範学校、福岡第二師範学校、福岡青年師範学校を総括して、新制大学「福岡学芸大学学芸学部」として発足いたしました。この日が本学の開学記念日となっています。その後、昭和41年(1966年)に、大学の名称を福岡教育大学に、学芸学部を教育学部に改称するとともに、それまで県内に分散していました大学キャンパスを、この赤間の地に統合移転をしました。

また、専門性の高い教員を養成するために、昭和58年(1983年)に修士課程を設置し、さらに、教職大学院を平成21年(2009年)に設置しました。

このように長い歴史をもつ本学で学ぶことは、共に学ぶ同級生、先輩や後輩、本学の教職員との触れ合いだけでなく、九州に広がる教育のネットワークに参加することを意味します。これは本学の大きな強みなのです。本学は、福岡県を中心とし、九州地域のみならず、我が国の教育界を支える優秀な人材を輩出してきました。

さて、本学の改革についてお話ししましょう。

平成28年度の入学生からは、教育学部を初等教育教員養成課程、中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程の3課程に改組し、教員養成課程としての教育を以下のように充実させました。

先ず第1に、昨年度に立ち上げた新しい教員組織である「教職教育院」を中核とした指導体制により、学生のみなさんの教職への志と学びを醸成します。入学から卒業まで、一貫して教育と就学指導、及び就職指導を行い、各学校種に応じた教育実践力を備えた教員を養成する体制をより強化します。第2に、学習指導要領改訂を見据えて教員養成カリキュラムと教養教育を抜本的に見直しました。このことにより、人権教育に関する科目、特別支援教育に関する科目、アクティブ・ラーニングやICT活用などの新しい指導法や指導内容などを適切に履修できるようにカリキュラムに位置づけしました。第3に、4年間にわたる教育実習を系統的に行うことにより、学校現場と教職への理解を深め、実践的な指導力を育成します。1年生では学校現場を体験する「体験実習」、2年生では「基礎実習」、3年生では、従前から実施されている「教育実習」を、そして教育実習の仕上げとして、4年生では「教育総合インターンシップ実習」を行い、卒業後に赴任する学校への最終準備を整えます。第4に、正課外活動ではありますが、学生ボランティア活動を教育の一環として位置づけ、学校や保護者、地域と協働して活動することができる資質・能力を身につけます。加えて、本学独自の学生ボランティア活動認定システムを本年度より導入し、卒業時まで、すべての学生がボランティア活動に参加できるように学生支援を強化します。第5に、昨年度に本学独自の試みとして立ち上げた「英語習得院」の教育体制を充実します。英語習得院は、英語が話せる教員(特に小学校教員)の養成と現職教員の研修、協定校留学、海外短期語学研修事業を行うために設置したものです。これも正課外の活動です。

これらを基にして、みなさんが本学を卒業するときには、教員採用率(正規採用に非常勤採用を含め)90%以上を目指しています。是非とも教職への志高いみなさんのご入学を歓迎します。

